

度契約分2024億5300万円、22年度契約分105億7600万円の状況

度岩国・大竹道路室の木地区第3改良工事Ⅱ中国

園整備工事を公告した。申請書は6月29日ま

札は7月15日。参加資格Ⅱ本店を市内

事(競争入札)を施工し引き渡した実績を有し、

# C・M・Sのテーマ別協議会

研究会  
近未来  
リポート

## さらなる連携へ議論深める

研究会(十河茂幸代表)は「初期ひび割れ抑制技術研究(C)協議会」脱炭素コンクリート技術研究

会を広島市中区で開き、

(S)協議会「RC構造物の延命化技術研究(M)協議会」のそれぞれに

抑制策として、低伸縮性のセメントを使用した事例やフライアッシュを用いた事例など効果的な対策が示される一方、発注者・設計者・製造者・

を研究する。極東興和の江長和徳氏による「M協議会」では、

管理に向けた連携について、議論を深めた。

対効果をデータで示すため、管理材齢を延ばせる根拠を示す資料を作成するとした。

「簡易とはいえ、橋梁の劣化を予測できる方法として有効」との見解が示され、さらに進化させるための見学会などを提案。M協議会には専門家が

3協議会でも、今月上旬に開いた第4回総会で示した活動方針を確認しつつ、これらを実現するための具体的なアクションについて協議した。

広島工業大学建築学部坂本英輔准教授を中心に進めている「S協議会」では、広島県生コンクリート工業組合から、CO<sub>2</sub>をコンクリートに練りこんで強度を高める実験やジオポリマーの実験についての中間報告があり、映像も交えて考察。カーボンニュートラルの技術は進化が激しいことから、今後は情報をさらに集め、地球温暖化対策

もあった。このほか、特別講演も開かれ、大林組とフローリックが共同開発し、高炉セメントと併用することでカーボンネガティブを達成できる可能性がある「リグニコンクリート」について、フローリックが紹介した。



広島工業大学工学部の竹田宣典教授が主査を務める「C協議会」では、初期ひび割れのうち、セメントの水和熱に起因する温度ひび割れと施工時のフリーディングが多いことによる沈みひび割れを対象に対策の在り方を

広島工業大学工学部の竹田宣典教授が主査を務める「C協議会」では、初期ひび割れのうち、セメントの水和熱に起因する温度ひび割れと施工時のフリーディングが多いことによる沈みひび割れを対象に対策の在り方を

山口工業組の地区をまとめ

### 53万m<sup>3</sup>で8%減

▽(株) 条町御 野博文 野新築 2422 45戸)

広島